

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科： 地理歴史 科目： 歴史総合 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： 鈴木・佐藤

使用教科書：（ 高等学校 明解歴史総合 帝国書院 ）

教科 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について理解し、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】・近現代の歴史に関して、多面的・多角的に考察したり表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に研究等することができる。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。	歴史事象の意味や意義など、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論しらるる力を身に付けさせる。	よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、各国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	2部 2章 江戸時代の日本と結び付く世界	17～18世紀のアジアやヨーロッパは、どのように結び付いていたのだろうか。	①18世紀の世界交易と、日本や各地域への影響について、資料を読み取り、理解している。 ②「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、みずからの言葉で表現している。 ③18世紀の世界交易が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	8
	3章 欧米諸国で生まれる国民国家	欧米で生まれた市民社会や国民国家とはどのようなものだろうか。	①市民社会と国民国家の形成の経緯について、資料を読み取り、理解している。 ②市民革命および国民国家形成の経緯などから、近代化の意義と現代社会との関わりを考察し、みずからの言葉で表現している。 ③市民革命や国民国家の形成が、現代社会に与えた影響と課題について、追究しようとしている。	○	○	○	12
	4章 産業革命による欧米とアジアの変化	欧米諸国の産業革命と世界進出は、世界の国々にどのような影響をもたらしたのだろうか。	①欧米諸国の産業革命と「西洋の衝撃」によるアジア諸国の変容と影響について資料を読み取り、理解している。 ②欧米諸国の産業革命と「西洋の衝撃」の歴史的意義について考察し、みずからの言葉で表現している。 ③欧米諸国の産業革命と「西洋の衝撃」によるアジア諸国の変容が現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	11
	6章 帝国主義の影響と日本を含めた東アジアの変化	帝国主義の動きは、近代化が進む東アジア諸国の関係にどのような影響を与えたのだろうか。	①欧米の帝国主義に日本が加わることで日本とアジア諸国の関係がどのように変化したか、資料を読み取り、理解している。 ②帝国主義政策の広がりによって世界的な規模で生じた構造的な変化について考察し、みずからの言葉で表現している。 ③帝国主義の時代におこった事柄が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	12
2 学 期	3部 2章 第一次世界大戦とその影響	第一次世界大戦という経験は、その後の世界にどのような影響をもたらしたのだろうか。	①第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・非戦闘員、植民地や従属地域の人々がどのように戦争に関わっていったのか資料を読み取り、理解している。 ②ヴェルサイユ体制によって形成された新しい国際秩序の特徴について考察し、みずからの言葉で表現している。 ③第一次世界大戦後、国際社会や各国で生じた政治・社会・文化の変化と、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	12
	3章 大衆社会の形成と社会運動	なぜ、大衆社会の成立と国際協調の機運が世界規模で広まっていったのだろうか。	①大衆社会の成立によって各国で生じた政治・社会・文化の変化について、資料を読み取り、理解している。 ②大衆社会の特徴について考察し、みずからの言葉で表現している。 ③20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	13

3 学 期	4章 揺らぐ国際秩序と日本の行方	なぜ、世界恐慌によって、国際協調体制は崩れてしまったのだろうか。	①世界恐慌から日中戦争の開始に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら、資料を読み取り、理解している。 ②世界恐慌から日中戦争の開始に至るまで、大衆が戦争に協力した背景について考察し、みずからの言葉で表現している。 ③世界恐慌後の各国の政治的判断と大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	12	
	5章 第二次世界大戦とその影響	第二次世界大戦とその後の冷戦は、現代の国際社会にどのような影響を与えているだろうか。	①第二次世界大戦とその後の冷戦構造に至る国際秩序について、日本と関連づけながら資料を読み取り、理解している。 ②国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際秩序を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのかについて考察し、みずからの言葉で表現している。 ③大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	10	
							合計	90